

木材を活用したくつろぎ空間づくり

写真提供：スターバックスコーヒージャパン株式会社



8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



「サードプレイス」として、人々へくつろぎの場所を提供することを理念としているスターバックス。社会に対してより良い影響をもたらす、“Social Impact”を掲げる同社は、FSC認証紙を用いたストローの導入をはじめ、サステナブルな社会の実現に取り組んでいます。

最近では、店舗の内装やテーブルに国産の木材を取り入れています。「木材の家具や内装は暖かみがあり、店舗を設計するにあたり、自然と木材を使う思考になっている。」と、店舗設計部の米山さんも語ります。

環境に優しく暖かな木材に溢れた空間は、“住み続けられるまちづくり”、“つくる責任つかう責任”というSDGsの目標にもつながります。みなさんも、身近な空間を、木材でちょっと暖かくしてみたいはいかがでしょうか。